

## 子どもの心の声を聴くことのできる人になりませんか！

### 2025年度 こども意見表明等支援員養成「専門講座」

#### 第1期「専門講座」日程

受講申込期間	… 令和7年8月4日(月)～8月29日(金)
特例措置の仮受講決定	…申込後に仮の受講決定を行います。正式決定は入金確認後です。
基礎講座レポート提出期限	… 令和7年8月29日(金)（レポート審査後に入金案内します。）
受講料払い込み期限	… 令和7年8月22日(金)（入金確認後、正式受講決定通知）
オンデマンド研修	… 令和7年8月30日(土)・9月13日(土)・9月27日(土)・10月11日(土) にそれぞれ公開予定
集合研修	… 令和7年10月25日(土)・11月8日(土)

#### 第2期「専門講座」日程

受講申込期間	… 令和7年8月4日(月)～10月31日(金)
基礎講座レポート提出期限	… 令和7年10月31日(金)（レポート審査後に入金案内します。）
受講料払い込み期限	… 令和7年11月7日(金)（入金確認後、受講決定通知）
オンデマンド研修	… 令和7年8月30日(土)・9月13日(土)・9月27日(土)・10月11日(土) にそれぞれ公開予定の動画を視聴してください。
集合研修	… 令和7年11月22日(土)・12月6日(土)

#### 「専門講座」受講要領

オンデマンド研修 ……受講申込者のみ、ホームページで限定公開して視聴※1

集合研修 …… 対面での集合研修による受講(全員が参加必須)

集合研修会場 …… 福岡県中小企業振興センター

受講料 ……20,000円（25歳以下の学生・大学院生※2は、5,000円）

受講対象者 ……基礎講座を受講後のレポート審査を修了し、受講料の入金確認後、メールで受講決定の通知を受けた者。(仮の受講決定者は受講料払込期限までの受講のみ)

受講確認 ……オンデマンドの各コマ受講確認のため全員感想(約100字)提出が必要。

修了認定 ……専門講座修了後にレポート(2,000字程度)を提出し審査に合格した者※3

※1 受講はオンデマンド視聴ですので、インターネット接続環境にあることが受講条件です。

※2 学生証の提示が必要です。証明になる学生証等の写真をメールで添付送信してください。

※3 「こども意見表明等支援員」となるためには、「専門講座」の修了認定後に実施される、児童相談所の一時保護所実習を修了しなければなりません。

注1 福岡県の意見表明等支援員として登録された場合は、福岡県が所管している児童福祉施設等への派遣となります。(他県、北九州市、福岡市が所管している施設等への派遣は行っていません。)

注2 「こども意見表明等支援員」は児童相談所や児童養護施設等から独立した立場で活動するため、現在、県内の児童相談所及び児童養護施設等で働くされている方については、活動範囲等に制限がかかる場合があります。登録を希望される方は、個別にご相談ください。

第1期・第2期「集合研修」会場

福岡県中小企業振興センタービル周辺

駐車場ご案内



※令和6年6月7日現在の情報です。  
※駐車場とは提携等は行っておりません。

公共交通機関をご利用の場合: JR 吉塚駅(東口)より徒歩約 1 分

福岡市営地下鉄 貝塚線「馬出九大病院前」より徒歩約 10 分

西鉄バス「吉塚駅前」より徒歩約 5 分

西鉄バス「吉塚 2 丁目」より徒歩約 3 分

## 専門講座カリキュラム

予定日	時 間	回	テーマ（内容）	講 師
【オンライン】 8/30(土) 公開予定 (研修形式) オンデマンド		第1回	社会的養護のこどもが権利を自分のものとするための課題	河嶋 静代（福岡県子どもアドボカシーセンター理事長）
		第2回	【権利擁護・児童福祉行政に関する理解】 児童相談所運営指針と福岡県児童相談所事業概要から見える社会的養護施設別措置児童の状況	田中 伸助 (元福岡県児童相談所児童福祉司)
		第3回	【アドボカシーの実際】 社会的養護経験者が求めるこどもアドボカシー	坂口 明夫（子ども家庭支援センターあまぎやま）
		第4回	【こどもの多様性への理解】 こどもが生きる上での様々な困難の理解	木戸 勝也（NPO法人イルタテエ理事長）
【オンライン】 9/13(土) 公開予定 (研修形式) オンデマンド		第5回	【権利擁護・児童福祉行政に対する理解】 児童相談所における法的対応とこどもアドボカシーの在り方	一宮 里枝子（福岡県福岡児童相談所児童福祉法務専門官、弁護士）
		第6回	【アドボカシーの過程と必要な態度・技術】 児童養護施設におけるアドボカシー	花田 悅子（児童養護施設報恩母の家施設長） 菅原 奈津子（里親養育包括支援機関リンク代表）
		第7回	【アドボカシーの過程と必要な態度・技術】 乳児院のこどもと非支持的アドボカシー	平田 ルリ子（清心乳児園長） 原田 美津子（里親支援機関OHANA統括責任者）
		第8回	【アドボカシーの過程と必要な態度・技術】 里親・ファミリーホームにおけるアドボカシー	吉田 菜穂子（里親 福岡県里親会会长）
【オンライン】 9/27(土) 公開予定 (研修形式) オンデマンド		第9回	【アドボカシーの過程と必要な態度・技術】 虐待体験と発達特性のあるこどもの理解と関わり	菊池 清美（児童心理治療施設筑後いづみ園 施設長）、小山 龍太（主任心理士）
		第10回	【アドボカシーの過程と必要な態度・技術】 児童自立支援施設におけるアドボカシー	船田 博仁（児童自立支援施設県立福岡学園 児童自立支援監）
		第11回	【アドボカシーの実際】 鳥取こども学園でのこどもアドボカシーの取り組み	藤野 謙一（社会福祉法人鳥取こども学園理事長）
		第12回	【アドボカシーの過程と必要な態度・技術】 性被害の兆候や訴えがあつたら～対応とそれに関連して知っておいてほしいこと	（福岡児童相談所判定課長） (児童相談所児童心理司)

<b>【オンライン】</b> <b>10/11(土)</b> <b>公開予定</b> <b>(研修形式)</b> <b>オンデマンド</b>	<b>第13回</b>	<b>【子どもの多様性への理解】</b> <b>子どもの心理と発達への理解を深める</b>	稲田 慶昭 (北九州市立大学准教授)
	<b>第14回</b>	<b>【子どもの多様性の理解】</b> <b>子どもの発達特性を理解したコミュニケーションの方法とアドボカシー</b>	楠 凡之 (北九州市立大学教授)
	<b>第15回</b>	<b>【子どもの多様性の理解】</b> <b>児童・思春期の発達障害・トラウマを含む精神疾患の理解</b>	佐川 陽子 (国立肥前精神医療センター・児童精神科医)
	<b>第16回</b>	<b>【アドボカシーの実際】</b> <b>こども意見表明等支援員に求められる応答スキル…傾聴を中心に</b>	岡田 健一 (九州大谷短期大学准教授、子どもアドボカシーセンター福岡理事)
<b>【第一期】</b> <b>10/25(土)</b>  <b>【第二期】</b> <b>11/22(土)</b>  <b>(研修形式)</b> <b>集合研修</b>	<b>9:30 ～11:00</b>	<b>【アドボカシーの実際】(1) 演習</b> <b>一時保護所における支援の過程</b> <b>意見表明のケース</b>	岡田 季之 (福岡県子どもアドボカシーセンター研修運営主任) 松山 英夫 (コーディネーター)、登録アドボケイト
	<b>11:10 ～12:40</b>	<b>【アドボカシーの実際】(2) 演習</b> <b>ツールやグッズの使い方</b>	岡田 季之 (福岡県子どもアドボカシーセンター研修運営主任) 松山 英夫 (コーディネーター)、登録アドボケイト
	<b>13:30 ～15:00</b>	<b>【アドボカシーの実際】(3) 演習</b> <b>多様な特性のある配慮が必要な子どもへの関わり</b>	岡田 季之 (福岡県子どもアドボカシーセンター研修運営主任) 松山 英夫 (コーディネーター)、登録アドボケイト
	<b>15:10 ～16:40</b>	<b>【アドボカシーの実際】(4) 演習</b> <b>子どもの権利擁護部会への申し立てケース</b>	岡田 季之 (福岡県子どもアドボカシーセンター研修運営主任) 松山 英夫 (コーディネーター)、登録アドボケイト
<b>【第一期】</b> <b>11/8(土)</b>  <b>【第二期】</b> <b>12/6(土)</b>  <b>(研修形式)</b> <b>集合研修</b>	<b>9:30 ～11:00</b>	<b>【アドボカシーの実際】(5) 演習</b> <b>社会的養護における想定される困難な場面の検討</b>	田中 伸助 (福岡県社会福祉士会元副会長・福岡県子どもアドボカシーセンター副理事長)
	<b>11:10 ～12:40</b>	<b>【演習で学ぶ実践スキル】演習</b> <b>こども意見表明等支援員の自己覚知や内省への理解</b>	河嶋 静代 (福岡県子どもアドボカシーセンター理事長)
	<b>13:30 ～15:00</b>	<b>【基礎研修と養成研修の振り返り】</b>	田中 伸助 (福岡県子どもアドボカシーセンター副理事長) 河嶋 静代 (福岡県子どもアドボカシーセンター理事長)
	<b>15:10 ～16:40</b>	<b>【～今後に向けて～修了式】</b>	田中 伸助 (福岡県子どもアドボカシーセンター副理事長) 河嶋 静代 (福岡県子どもアドボカシーセンター理事長)

### 専門講座の修了認定

1. 次の条件で修了認定(修了証の交付)を行います。修了した人のみ「実習」を受けることができます。
  - (1) 受講確認のため、各講義の感想(100字程度)を提出すること。
  - (2) 全講義の受講後に、修了レポート(2000字程度)を提出すること。
  - (3) 修了レポートは、評価ポイント(開催要領参照)を満たした内容になっていること。